



環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

2021年1月号 (第296号)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 事前入場登録が必要になります

SDGs Aichi Expo 2020
日本最大級のSDGs推進フェア
in AICHI SKY EXPO / 2021.2.5 (Fri) 2.6 (Sat)

開催日程: 2021年2月5日(金)・6日(土) 10:00~17:00 (9:30開場)
開催会場: Aichi Sky Expo (愛知県稲沢市) イベント・ホール
入場料: ※無料ですが事前入場登録が必要です。主催: SDGs Aichi Expo実行委員会

2/5 For BUSINESS SDGsをビジネスに活かすヒントになる講演やセミナーを多数開催
池上 彰氏 (SDGsの成長と10年後の未来) 池上 彰氏 (SDGsの成長と10年後の未来)

2/6 For FAMILY SDGsを楽しみながら学び、体感できるステージイベントを開催
SDGsを学ぶ「SDGsステージ」 大人から子どもまで楽しめるSDGsステージ

事前入場登録 & 詳細情報は公式サイトへ! <https://sdgs-aichi.com/> SDGsをみんなの手で



「チーム・日本ガイシ」の発表
「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の成果発表会を開催しました (P4)

「SDGs Aichi Expo 2020」を開催します (P2)



「令和3年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」
で文部科学大臣賞等を受賞しました (P5)



「Let's Eco Action in Aichi」を開催しました (P6)



エコアクションを
はじめよう! つづけよう! つなげよう!

<http://aichi-eco.com>



「SDGs AICHI EXPO 2020」を開催します



SDGsの達成に向けた機運醸成を図るため、「SDGs AICHI EXPO 2020」を開催します。

SDGsに積極的に取り組む企業等によるブース出展、SDGsの理解を深めるためのステージイベントやワークショップなど、多数の企画を用意しています。是非ご参加ください。

1 日時

2月5日(金)・6日(土)
10:00～17:00 (9:30開場)

2 会場

Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)展示ホールA

3 主な内容

(1) ステージイベント (各日 10:00～17:00)

【2月5日(金)】ビジネス層向け

○オープニングセレモニー

- ・オープニング式典(10:00～10:30)
[主催者挨拶: 実行委員会会長 大村知事 ほか]

- ・開催記念講演(10:30～11:30)

『SDGsの成果と
10年後に向けた課題』

講演者

ジャーナリスト いけがみ あきら 池上 彰 氏



池上 彰 さん

○水素シンポジウム

- ・『未来の社会を創る水素エネルギー』
(13:00～15:00)

○特別セミナー

- ・『SDGsとESG投資』(15:00～16:00)

講演者

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

よしたか 吉高 まり 氏

【2月6日(土)】ファミリー層向け

○トークショー等

- ・『うんこ先生の防災ショー』

(13:00～13:30、15:15～15:45)

「うんこ漢字ドリル」でおなじみの「うんこ先生」によるSDGs教室、写真撮影会 など



- ・『笑って学ぼう！

よしもと×SDGs ステージ』

(13:45～15:00)

講演者

こうもと じゅんいち 河本 準一 氏 ほか、吉本芸人が多数出演



河本 準一 さん

○エンディングセレモニー

来場者によるSDGs宣言 など

(2) ブース出展・ワークショップ・スタンプラリー

- ・SDGsの取組を積極的に行っている企業、大学、NPO等によるブース出展(約100企業・団体が出展)
- ・間伐材やマイクロプラスチックを使った工作など、楽しみながらSDGsを学べるワークショップ
- ・会場に設置したスタンプを集める『SDGsスタンプラリー』(記念品のプレゼントあり)

4 参加費

無料(要事前入場登録)

5 事前入場登録等

本イベントは、事前入場登録制です。下記公式サイトから事前入場登録をしてください(2日間とも来場される方は、両日とも事前登録が必要。)

また、オープニングセレモニー及びよしもとSDGsステージは、事前申込(先着200名)が必要となります。希望される方は、事前入場登録のページで、観覧席付き入場券を選択してください。

6 その他

- ・ご来場の際は、マスクの着用、会場での手指の消毒、検温等にご協力をお願いします。
- ・会場に併設する会議室でSDGsに関連した各種併催イベントを同時開催します。

7 お問い合わせ

SDGs AICHI EXPO 実行委員会事務局(株新東通信)

電話: 052-971-6233(平日 10:00～17:00)

メール: info@sdgs-aichi.com

本イベントの詳細は公式サイトをご覧ください。
(<https://sdgs-aichi.com/>)

〔環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210(ダイヤルイン)〕



「令和2年度 VOC 排出抑制及びPCB 廃棄物の 適正な処理促進に関するセミナー」を開催します

3 すべての人に
健康と福祉を

11 社会課題の解決
を促す

12 つくる責任
つかう責任

大気汚染の原因物質である VOC（揮発性有機化合物）の排出抑制と PCB 廃棄物の適正な処理の促進を図るため、VOC 取扱事業者・PCB 廃棄物保管事業者等を対象としたセミナーを開催します。本セミナーでは、VOC の排出抑制対策の動向や取組事例、PCB 廃棄物の処分の手続き等について紹介します。

1 日時 2月1日（月）13:30～15:35

YouTube Live によるオンラインセミナー

2 定員・参加費 500名（事前申込先着順）、無料

3 主催・共催 中部経済産業局、愛知県、名古屋市、
愛知県中小企業団体中央会

4 内容

【講演】

- ① 「VOC 排出削減対策の動向」
（経済産業省産業技術環境局環境管理推進室）
- ② 「愛知県における VOC 排出抑制の取組等」
（愛知県環境局環境政策部水大気環境課）

③ 「有機溶剤取り扱い職場の健康障害防止対策」
（中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター）

④ 「PCB 廃棄物の適正な処理の促進について」
（環境省中部地方環境事務所資源循環課）

【取組事例】

⑤ 「VOC 排出削減対策事例の紹介」
（トヨタ紡織(株)グローバル安全衛生環境部
PE 環境室）

5 申込方法

下記 Web ページから申込みフォームにアクセスし、
1月15日（金）までにお申込みください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/r02vochgseminar.html>)



水大気環境課 大気規制グループ
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）

令和2年版環境白書を発行しました

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

環境白書は、愛知県の環境の状況及び環境の保全の施策をとりまとめたもので、県環境基本条例に基づき、毎年議会に報告を行っています。

1971年の初刊発行以来50冊目となる「令和2年版環境白書」は、第1部「特集」として下記の内容を紹介し、第2部で「令和元年度の環境の状況と施策」を掲載しています。巻末には、環境基準等の各法令に基づく基準値などを資料編として加えています。

特集1 「環境白書」50年に見る愛知の環境の
あゆみ

特集2 愛知県環境調査センターのリニューアル

＜環境白書をご覧になりたい方は＞

環境局 Web ページ「あいちの環境」に全文を掲載しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/0000057223.html>)



また、「愛知県県民相談・情報センター」の情報コーナー（愛知県自治センター2階）では、1部860円で販売しています。



かんべひろみ 神戶洋美県議会議長（中）及び青山省三県議会副議長（右）に岡田環境局長から報告（12月9日）

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210（ダイヤルイン）



「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」 成果発表会を開催しました



持続可能な未来のあいちの担い手となる大学生が
研究員となり、パートナー企業 10 社からの環境課題
に対して解決策を提案する「かがやけ☆あいちサス
ティナ研究所」の成果発表会を開催しました。

第 6 期生となる 40 名の研究員は、10 チームに分
かれて、8 月の開所式以降、パートナー企業を訪問
し、環境取組の現地調査や担当者とのディスカッシ
ョンを行うとともに、チームの自主ミーティングを
繰り返し、課題の解決策を検討してきました。

成果発表会では、各チームが 4 か月間の研究成果
を発表するとともに、研究活動の締めくくりとなる
修了式及び表彰式を行いました。

1 イベントの概要

日 時 12 月 13 日（日）13：30～17：00
会 場 愛知学院大学 名城公園キャンパス
キャッスルホール「明倫」
参加者 一般参加者、関係者含む 135 名

2 研究成果発表

各チームは、8 分間という短い時間の中で、創意
工夫を凝らした発表を行い、審査員及びパートナー
企業の代表者から講評をいただきました。



「チーム・東レ」の発表

発表の様子は、研究所の公式ブログに公開してお
り、Web 上でご覧いただけます。

公式ブログ (<http://sustaina-ken.jugem.jp/>)



「サスティナ研究所」で検索

3 修了式

研究員を代表して、「チーム・日本ガイシ」の ^{かたざり}片桐 ^{あかね}朱音さんが、大村知事から修了証を受け取り、「研究
所活動の経験を、今後の率先行動へとつなげていき
たい」と力強い抱負を述べました。また、大村知事
は、研究員に対して、「コロナ禍の大変厳しい状況の
中での活動を労い、「持続可能なあいちの担い手とし
て更なる活躍を期待する」とエールを送りました。



修了証授与（大村知事と片桐朱音さん）

4 表彰式

審査員審査による「最優秀賞」及び「かがやき賞」、
参加者投票による「オーディエンス賞」の 3 賞を選
定し、表彰しました。「最優秀賞」には、環境問題を
ポジティブに捉え、積極的に未来を変えていくきつ
かけの場とする、小学生向けの「もっと“幸せ”な
未来にしたいくなる授業」を提案した「チーム・日本
ガイシ」が輝きました！



「チーム・日本ガイシ」の皆さん

【その他の受賞チーム】

かがやき賞：「チーム・東レ」
オーディエンス賞：「チーム・メニコン」

（環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210（ダイヤルイン））

「令和3年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」で 文部科学大臣賞等を受賞しました



(公財)日本鳥類保護連盟主催の「令和3年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」において、全国21,685点の中から、愛知県が推薦した半田市立乙川小学校1年の瀬口愛菜さんの作品が文部科学大臣賞を、刈谷市立朝日小学校6年の吉永逞人さんと名古屋市立円上中学校2年の福本翔さんの作品が(公財)日本鳥類保護連盟会長賞を受賞しました。

＜受賞作品＞

文部科学大臣賞	(公財)日本鳥類保護連盟会長賞	
半田市立乙川小学校 1年 瀬口愛菜さんの作品	刈谷市立朝日小学校 6年 吉永逞人さんの作品	名古屋市立円上中学校 2年 福本翔さんの作品

今回の受賞を受け、12月21日に愛知県公館において受賞伝達式を行い、3名の受賞者に対し、大村知事から賞状と楯をお渡ししました。



受賞伝達式(瀬口愛菜さん)

なお、県内から応募のあった90点の優秀作品は、愛知県弥富野鳥園で2回に分けて展示する予定です。愛知県弥富野鳥園での展示期間(月曜日閉園)

- ① 1月9日(土)～1月24日(日)
- ② 1月30日(土)～2月14日(日)

また、優秀作品のうち、県が推薦した作品30点については、2021年の愛鳥週間(5月10日(月)から5月16日(日)まで)の期間中(閉庁日を除く。)、県庁地下通路でも展示します。是非ご覧ください。

〔自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)〕

県内初の「体験の機会の場」の認定を行いました



「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」第20条に基づく「体験の機会の場」の認定は、民間の土地・建物の所有者等がその土地・建物を自然体験活動などの場として提供する場合に、申請に基づき都道府県知事等の認定を受けることのできる制度です。

このたび、県内初の認定を以下のとおり行いました。

1 認定団体

加山興業(株) 豊川本社
(豊川市南千両2-67)

2 「体験の機会の場」での学習内容

(1) 市田プラント(豊川市市田町蓮池20-2)
ゴミのリサイクル過程を見学し、自分たちが捨てたゴミがどのように処理されるのか、ゴミを再利用

するために何が行われているのかを学ぶことができます。

(2) KAYAMAファーム(豊川市南千両2-1)

養蜂場の見学を通して、ミツバチの生態やミツバチと環境の繋がりについて学ぶことができます。

3 「体験の機会の場」への参加対象者

小学校4年生以上推奨

4 認定期間

2020年12月1日から2025年11月30日まで

5 その他

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000054779pr01.html>)



〔環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)〕



「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました

愛知県では、地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」の輪を広げていくため、2014年度から「Let's エコアクション in AICHI」を開催しています。

今年度は、「ふみだそう！未来へつながるエコアクション」をテーマに、一宮市の協力を得て、11月28日（土）に尾張一宮駅前ビル（i-ビル）において開催しました。

ステージでは、「エコマジシャンミヤモ」によるエコマジックショーや「劇団シンデレラ」によるミュージカル「天使が町にやってきた～SDGs～」、「一宮七夕まつりミス七夕」によるエコクイズ大会や地元アイドルグループ「OS☆U」（あいちエコアクション広報部）によるスペシャルステージなどを行いました。

し、身近なエコアクションを継続していくことの重要性を呼びかけました。



「FMいちのみや」による生放送インタビュー

さらに、企業や団体、大学のワークショップでは、自然素材を使った工作や環境を題材とした親子で楽しめるゲームなどを行いました。



「エコマジシャンミヤモ」によるエコマジックショー



自然素材を使った工作



「劇団シンデレラ」によるミュージカル

また、地元のラジオ局「FMいちのみや」による生放送インタビューに大村知事と中野一宮市長が出演

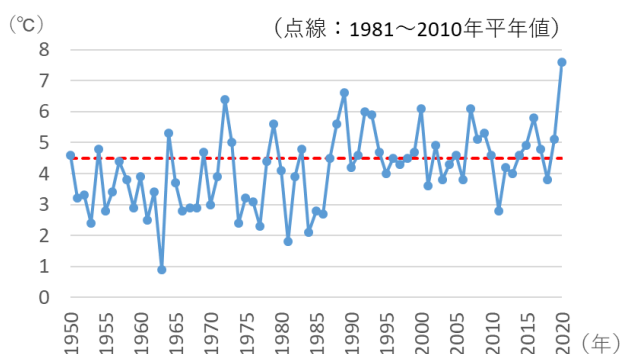
本イベントは、「中部産 CO₂ クレジット」を活用したカーボン・オフセットにより、CO₂ 排出量を実質ゼロにしました。さらに、配布物にワンウェイ（使い捨て）プラスチック製品をできる限り使用しないようにしたり、印刷配布していた当日プログラムをボード表示に替えて紙の使用を少なくしたりするなど、様々なエコアクションを取り入れて開催しました。

当日は、多くの方にご来場いただき、イベントを通じて楽しみながらエコアクションやSDGs についての関心を高めていただくことができました。

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

1 1月の気候の変化

名古屋の1月の平均気温の推移を見ると、1950～1986年までは平年値と比べて、低い年が多いのに対し、1987年以降は高い年が多くなっており、近年は気温が高くなってきていることがわかります。特に昨年2020年1月は平均気温が7.6℃と観測史上最も高くなりました。



名古屋の1月平均気温の推移 (気象庁データより)

ただし、図を見るとわかるように、平均気温は上昇傾向にあるものの、年によって大きな変動があります。現に、今年の1月は平年並みの予想となっており、冬らしい寒い月になる見通しです。

2 気象・気候変動を踏まえた商品需要予測(適応策)

気象・気候が商品に対する顧客ニーズの変化の要因の一つでもあるため、それらの予測をビジネスに活用する動きが出てきています。

その一つとして、高精度の気象データと商品の販売データなどのビッグデータを、AIなどの最新技術を使い解析することで、未来に必要なモノの量を予測する「商品需要予測」という技術があります。例えば、製造業では、製造計画や人員の調整、出荷量調整、販売計画、地域配分調整などの最適化に使用されたり、流通・小売業では、来店客数の予測や店内オペレーションの向上に使用されたりしています。天気予報をもとに人の動きを予測して効率よく商品を販売することは、ひとつの気候変動適応となります。

3 需要予測の具体例 (今冬の冬商材の見通し)

下表は、週平均気温 1℃当たりの売り上げの変化率 (気温感度の高い商品) を示した例です (前年同週比)。今冬は平年並みの寒さになると予想されることから、これらを中心に冬素材の売り上げが昨年より多くなる見込みです。このような解析データと気象予測を組み合わせることで、気候変動のリスクに備えることができます。

冬商材	1℃当たりの売り上げ変化
使い捨てカイロ	10.6%
編補完材	6.0%
ハンド&スキンケア	5.6%
鼻炎治療剤	5.4%
シチュー	4.9%
リップクリーム	4.3%
ココア	4.0%
ヨーグルト & マッサージ	3.9%
液体だし	3.5%
麦芽飲料	3.2%
はんぺん	3.2%
防水・撥水剤	3.2%
総合感冒薬	3.0%
皮膚用薬 (除殺菌)	2.9%
袋インスタント麺	2.9%
紅茶	2.7%
つゆ・煮物料理の素	2.7%
春雨・くず切り	2.7%
インスタントクリーム	2.6%
スープ類	2.6%

週平均気温 1℃当たりの売り上げの変化率 ((一財) 日本気象協会資料より)

4 事業者向け啓発セミナーの開催

12月8日、事業活動における気候変動適応を推進するため、県内の事業者を対象にしたセミナーを開催しました。(一財) 日本気象協会中部支社の気象予報士である立岩洋輔さんをお招きし、「防災やビジネスにおける気象情報の活用」について、事業者目線でご講演いただきました。講演では、今後、気候変動に伴い気象リスクが高まる中で、過去の経験に加え、気象予報データを有効に活用して、事業活動を行っている事例が紹介されました。講演資料は、県気候変動適応センターのWebページにて公開していますので、是非ご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/tekiou.html>)



環境調査センター 企画情報部
気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

ベストプラクティスの受賞事例について、行政とも協力した大規模な取組を紹介します。

豊橋市教育委員会、豊橋湿原保護の会、豊橋自然歩道推進協議会

愛知県指定天然記念物「葦毛湿原^{いもろ}」では、湿地の面積が減少し、湿生植物が衰退していました。そこで、ボランティア・企業・行政が協働して活動し、2013年から大規模植生回復作業を開始しました。土壌シードバンクに眠っている埋土種子を効率よく発芽させ、湿地の再生や減少した植物の個体数の増加



植生回復作業

及び周辺環境の生物多様性の復元を目指して活動しています。

なごや生物多様性保全活動協議会

2008年に、ため池保全の活動を地域住民や市民団体等で開始し、2011年にさらに活動の幅を広げるために当協議会が設立されました。名古屋に生育・生息する生物及びその環境を継続的に調査し、生物多様性の現状を把握し、外来種防除などを通し身近な



一斉調査の様子

自然の保全を目的に活動しています。アカミミガメの防除、カワバタモロコの保全、ヒキガエルの調査など

各部会に分かれ、様々な活動を市民・企業・行政と協働して行っています。

チームYMO

指定管理者チームYMOは、農業公園である「農業文化園」と都市公園である「戸田川緑地」を一体的に管理運営しています。ビオトープや体験農園を活用し、市民団体・企業・教育機関など多くの団体に関わり、保全活動、環境学習、農業体験など様々な取組を行っています。固有種保護や外来種駆除などの生物多様性保全活動、稲作体験、ビオトープ管理



なごや西の森づくり事業

士養成研修、各種環境教育やワークショップなどを通じて、園内整備と環境保全に携わる人材育成、広域的な環境保全に取り組んでいます。

藤前干潟クリーン大作戦実行委員会

藤前干潟の保全等を目的に、土岐川・庄内川の流域の市民団体・企業・教育機関・行政が広く連携し、毎年春と秋の年2回、「藤前干潟クリーン大作戦」として、清掃活動を行っています。また、干潟の観察会や、河川・海のマイクロプラスチック問題に関



藤前干潟クリーン大作戦

する啓発活動も行っています。

〔 自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン) 〕

※ 掲載の研修会やイベントは、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2021年1月4日発行(第296号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

明けましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしでしょうか。冬休みが例年より短かったこともあり、年賀状、大掃除など年末年始の準備で追われているうちに新年を迎えたという方も多いのでは。

「環境かわら版」では、今年も本県の最新の環境行政情報やイベントの発信に努めていきますので、引き続きご愛読の程、よろしく願います。
(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、今月号及びバックナンバーをカラーでご覧いただけます。ページは右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

